



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



風しん (三日ばしか) が関東地方で流行しています。RSウイルス感染症にも注意しましょう。

7月以降、関東地方で風しんの届出数が、例年に比べ大幅に増加しています。現在は関東地方での流行ですが、国内外で多くの人々の往来が見込まれる時期であることから、**今後、全国的に感染が拡大することが懸念されています。**  
 風しんの予防には、予防接種による抗体の獲得が有効です。



特に、**診療に関わる医療関係者、これまで風しんにかかっていない人、風しんの予防接種を受けていない人※、妊娠を希望する女性**は注意が必要とされているため、抗体の有無の確認や、予防接種を受けることをご検討ください。

※今回、平成30年7月23日から8月5日までに全国では38例の風しんの届出があり、その多くは30代~50代の男性でした。風しんは、現在は定期接種となり多くの子どもたちが予防接種を受けていますが、過去の予防接種制度の変遷により予防接種率が低い世代 (30~50代の男性) があります。30代~50代の男性では、風しんの抗体価が低い方が2割程度存在していることが分かっています。

### 風しんの発生状況について

近年は、全国的な大きな流行はなく、海外での感染をきっかけとした国内での局地的な流行がほとんどです。平成30年は全国で184件、熊本県0件、熊本市では、平成26年以降、患者の報告はありません (8月19日現在)。  
 詳しくは熊本市ホームページ、「風しん (三日ばしか) が関東地方で流行しています。」をご覧ください。(風しんは直ちに最寄りの保健所へ連絡が必要な5類感染症です。)



熊本市  
ホームページ  
QRコード

期 間		平成30年 32週		平成30年 33週	
		8/6~8/12		8/13~8/19 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	1	0.04
RSウイルス感染症 ⚠	➡	29	1.81	33	2.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	7	0.44	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	21	1.31	11	0.69
感染性胃腸炎	⬇	58	3.63	29	1.81
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	5	0.31
手足口病	➡	35	2.19	23	1.44
伝染性紅斑 (りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	7	0.44	13	0.81
ヘルパンギーナ	⬇	33	2.06	9	0.56
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	⬇	21	4.20	5	1.00
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00